

# 公立野辺地病院新改革プラン

平成28年度実施状況に係る点検・評価

平成30年2月

公立野辺地病院

1 指標にかかる数値目標

(1) 医療機能等指標に係る数値目標		26年度	27年度	28年度		29年度	30年度	31年度	32年度	備考
		(実績)	(実績)	(実績)	評価					
① 医療機能・医療品質に係るもの										
時間外救急患者数(人)	目標	2,416	2,341	2,400	B	2,400	2,400	2,400	2,400	
	実績	2,416	2,341	2,341						
	達成%			97.5						
救急車受入件数(人)	目標	616	614	615	B	615	615	615	615	
	実績	616	614	596						
	達成%			96.9						
手術件数(人)	目標	582	494	536	B	564	564	564	564	
	実績	582	494	501						
	達成%			93.5						
②その他										
人間ドック(人)	目標	936	990	1,020	A	1,080	1,080	1,080	1,080	
	実績	936	990	1,155						
	達成%			113.2						
一般検診(人)	目標	1,458	1,600	1,680	A	1,800	1,800	1,800	1,800	
	実績	1,458	1,600	1,815						
	達成%			108.0						

(2) 経営指標に係る数値目標		26年度	27年度	28年度		29年度	30年度	31年度	32年度	備考
		(実績)	(実績)	(実績)	評価					
①収支改善に係るもの										
経常収支比率(%)	目標	91.9	94.5	97.7	A	99.6	100.3	100.8	98.5	
	実績	91.9	94.5	103.6						
	達成%			106.0						
医業収支比率(%)	目標	84.9	88.1	91.9	A	92.7	92.9	93.6	93.8	
	実績	84.9	88.1	97.2						
	達成%			105.8						
②経費削減に係るもの										
材料費対医業収益比率(%)	目標	18.0	16.9	15.7	A	15.7	15.6	15.5	15.5	
	実績	18.0	16.9	15.0						
	達成%			104.7						
③収入確保に係るもの										
病床稼働率(%)	目標	78.3	76.9	80.8	A	82.1	82.1	82.1	82.1	
	実績	78.3	76.9	81.4						
	達成%			100.7						
一般病床(%)	目標	77.2	76.1	78.9	A	80.0	80.0	80.0	80.0	
	実績	77.2	76.1	79.9						
	達成%			101.3						
療養病床(%)	目標	82.6	80.0	88.0	B	90.3	90.3	90.3	90.3	
	実績	82.6	80.0	87.3						
	達成%			99.2						
1日平均入院単価(円)	目標	32,348	30,489	29,887	A	29,774	29,774	29,774	29,774	
	実績	32,348	30,489	30,728						
	達成%			102.8						
一般病床(円)	目標	35,504	32,918	33,500	A	33,500	33,500	33,500	33,500	
	実績	35,504	32,918	34,730						
	達成%			103.7						
地域包括ケア病床(円)	目標			29,000	A	29,000	29,000	29,000	29,000	
	実績			29,424						
	達成%			101.5						
療養病床(円)	目標	20,936	21,555	21,400	A	21,500	21,500	21,500	21,500	
	実績	20,936	21,555	21,447						
	達成%			100.2						
1日平均外来単価(円)	目標	7,812	7,770	8,000	A	8,000	8,000	8,000	8,000	
	実績	7,812	7,770	8,218						
	達成%			102.7						
④経営の安定性に係るもの										
一般会計繰入金額(千円)	目標	271,805	272,543	326,363	A	406,933	414,678	412,275	409,784	
	実績	271,805	272,543	326,363						
	達成%			100.0						
一般会計繰入金対医業収益比率(%)	目標	11.4	12.1	14.3	B	17.4	17.8	17.7	17.7	
	実績	11.4	12.1	13.9						
	達成%			97.4						

経営指標数値目標の達成度に係る総合評価	A
---------------------	---

【評価基準】 A: 目標どおり達成 B: 概ね達成(80%以上) C: ある程度達成(60%~80%未満) D: 達成できていない(60%未満)

## 2 目標達成に向けた具体的な取組

区 分	具体的な取組内容(計画)	H28 (初年度)	実施内容(未達成の理由)
民間的経営手法の導入	①診療材料等(SPD導入)の変動経費削減、不良在庫削減等で徹底した経費削減の実施。(SPD平成25年度から導入)	実施	診療材料使用高の減 (H26:160,668千円、H27:135,019千円、H28:115,546千円)
	②目標管理制度の推進並びに人事評価制度の導入。 (平成28年度実施予定)	実施	人事制度の構築支援のため、コンサルタントの導入(H28から)。 ・看護職・医療技術職の人事評価制度構築支援業務(各所属長とのヒアリング、評価項目等の作成、人事評価制度運用整備等の実施)
	③サプライ業務の民間委託化(平成29年度実施予定)	検討中	平成29年度から実施(2名を委託業者へ移行)するため検討中。
事業規模・事業形態の見直し	①今後継続的に安定した経営が困難となる事態が予測された場合は、地方独立行政法人化等の経営形態への移行について多方面より検討する。	検討中	現時点での移行については、選択肢の1つとしてでもあり、今後メリット、デメリットについて継続して検討していく。
	②病床数について、地域医療構想に基づきかつ病床の有効利用を考慮し、急性期病床からの回復期病床等への移行を検討する。	実施	平成28年8月から、一般病床を10床減し、地域包括ケア病床を10床増とした。 (一般病床90床、地域包括ケア病床30床 合計120床)
経費削減・抑制対策	①省エネ機器導入による経費削減 ・LED化や空調設備の省エネ運転による光熱費の削減。	実施	・LED化(平成27年度実施済) ・光熱水費(デマンド監視装置の設置) H26:39,350千円、H27:35,055千円、H28:31,778千円
	②ケチケチ大作戦による経費削減(材料費、消耗品等の経費削減)	実施	【材料費】 H26:428,573千円、H27:379,887千円、H28:350,239千円 【経費】 H26:793,390千円、H27:566,266千円、H28:582,532千円
	③職員給与の特例減額措置の継続(医師除く) ・管理職手当:50%減額の継続(平成14年度から実施)。	実施	管理職手当50%の減額は、継続中。
	④職員給与の削減 ・特殊勤務手当の見直しによる削減:宿日直手当、待機手当の減額(平成27年度から実施)。 ・再任用制度による定年退職者の積極的雇用による給与費の抑制を図る。	実施	・特殊勤務手当の削減については、継続中。 ・再任用制度の利用者 H27:医療技術員 1名 H28:看護師 2名 合計3名

区 分	具体的な取組内容(計画)	H28 (初年度)	実施内容(未達成の理由)
収入増加・確保対策	①コンサルの導入による収益の確保(平成27年度実施) ・診療報酬請求の適正化のためコンサルを導入し、取得可能な届出等の洗い出しによる増収。 ・診療報酬改定に対し、早期の情報収集等を図る。	実施	診療報酬改定のためコンサルタントの導入 ・患者数増額に向けた取組み事項等の検討、診療報酬改正ポイント、地域包括ケア病床の増床についての助言・指導等
	②地域包括ケア病床による増収 ・地域包括ケア病床の増床を検討する。	実施	平成28年8月から、地域包括ケア病床20床を30床に増床し、収入の増を図る。
	③ベッドコントロールの徹底 ・看護師、地域医療連携室、事務部門が連携を取り、入院から退院まで一元的にベッドコントロールを行い「病床1日単価を最大化」、「入院患者の増加」を図る。	実施	【一般病床 1人1日当り単価】 ・H26:35,503円、H27:32,917円、H28:33,349円 【入院患者数】 ・H26:43,160人、H27:42,483人、H28:44,859人
	④リハビリテーション土曜実施による患者サービス ・リハビリテーションが必要な入院患者様へは土曜日にも実施し患者の確保を図る。	検討中	平成29年度から実施の方向に向け入院患者を中心に検討中(平成29年度から実施)。
その他	①医師確保 ・医師派遣については、派遣元である弘前大学医局が中心となっているため、今後も管理者、院長、事務長を中心に粘り強い派遣依頼を行っていく。 ・病院ホームページを充実させ、医師、看護師等の確保に努める。 ・医師の業務軽減を図るため、ドクターズクラーク、医師事務作業補助者の配置。 ・宿日直医師への手当の増(救急患者数に応じた出来高制の導入)	実施	・医師派遣については、弘前大学医局との派遣依頼を継続して行く。 ・医師等修学資金貸与による医師確保。(H23:1名、H27:1名、H28:1名の合計3名の制度利用) ・医師事務作業補助者:現在臨時職員として6名の採用であるが、必要であれば増員も検討する。 (医師事務作業補助体制加算1(20対1)年間 8,080千円収入)
	②透析収入の増 ・現在、臨床工学技士1名で入院患者の透析を実施しているが、年々増加傾向にある透析患者に対応するため、臨床工学技士確保に努め透析患者増を図る。	実施	・臨床工学技士はH28:1名。(H29:1名増員を予定) 透析入院患者数 (H27:686人、H28年度:708人)

(別紙1)

団体名 (病院名)	公立野辺地病院
--------------	---------

## 1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分	年度	27年度 (実績)	28年度			29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画
			計画A	実績B	差(A-B)				
収 入	1. 医業収益 a	2,247	2,281	2,342	▲ 61	2,336	2,326	2,324	2,310
	(1) 料金収入	2,015	2,030	2,088	▲ 58	2,043	2,032	2,030	2,016
	(2) その他	232	251	254	▲ 3	293	294	294	294
	うち他会計負担金	160	174	174	0	216	216	216	216
	2. 医業外収益	457	466	469	▲ 3	491	500	498	273
	(1) 他会計負担金・補助金	113	153	152	1	191	199	196	194
	(2) 国(県)補助金	1	1	1	0	1	1	1	1
	(3) 長期前受金戻入	89	53	43	10	39	40	40	40
	(4) 介護療養型老人保健施設収益	215	221	226	▲ 5	222	222	223	
	(5) その他	39	38	47	▲ 9	38	38	38	38
経常収益(A)	2,704	2,747	2,811	▲ 64	2,827	2,826	2,822	2,583	
支 出	1. 医業費用 b	2,551	2,481	2,409	72	2,519	2,504	2,484	2,464
	(1) 職員給与費 c	1,141	1,161	1,162	▲ 1	1,215	1,209	1,197	1,188
	(2) 材料費	380	358	350	8	366	362	361	357
	(3) 経費	836	810	746	64	795	795	794	793
	(4) 減価償却費	185	142	137	5	133	128	122	116
	(5) その他	9	10	14	▲ 4	10	10	10	10
	2. 医業外費用	311	330	303	27	319	314	316	159
	(1) 支払利息	33	32	31	1	28	23	18	14
	(2) 介護療養型老人保健施設費用	168	161	155	6	163	164	165	
	(3) その他	110	137	117	20	128	127	133	145
経常費用(B)	2,862	2,811	2,712	99	2,838	2,818	2,800	2,623	
経常損益(A)-(B)(C)	▲ 158	▲ 64	99	▲ 163	▲ 11	8	22	▲ 40	
特別 損益	1. 特別利益(D)				0				
	2. 特別損失(E)				0				
	特別損益(D)-(E)(F)	0	0	0	0	0	0	0	0
純損益(C)+(F)	▲ 158	▲ 64	99	▲ 163	▲ 11	8	22	▲ 40	
累積欠損金(G)	3,544	3,608	3,445	163	3,619	3,611	3,589	3,629	
不 良 債 務	流動資産(ア)	635	444	491	▲ 47	447	445	445	405
	流動負債(イ)	941	780	654	126	766	712	642	614
	うち一時借入金	500	352	250	102	343	292	230	237
	翌年度繰越財源(ウ)				0				
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額(エ)				0				
差引不良債務(オ)	160	187	15	172	176	121	51	97	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	94.5	97.7	103.7	▲ 5.9	99.6	100.3	100.8	98.5	
不良債務比率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	7.1	8.2	0.6	7.6	7.5	5.2	2.2	4.2	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	88.1	91.9	97.2	▲ 5.3	92.7	92.9	93.6	93.8	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{c}{a} \times 100$	50.8	50.9	49.6	1.3	52.0	52.0	51.5	51.4	
地方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額(H)	14	41	0	41	176	121	51	97	
資金不足比率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0.6	1.8	0.0	1.8	7.5	5.2	2.2	4.2	
病床利用率	76.9	80.8	81.4	▲ 0.6	82.1	82.1	82.1	82.1	

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分	年度	27年度 (実績)	28年度			29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画
			計画A	実績B	差(A-B)				
収入	1. 企業債								
	2. 他会計出資金	123	158	158	0	168	138	138	137
	3. 他会計負担金								
	4. 他会計借入金								
	5. 他会計補助金								
	6. 国(県)補助金		5	5	0	3	3		3
	7. その他	167							
	収入計 (a)	290	163	163	0	171	141	138	140
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)								
	前年度許可債で当年度借入分 (c)								
純計(a)-[(b)+(c)] (A)	290	163	163	0	171	141	138	140	
支出	1. 建設改良費	50	120	120	0	133	79	70	72
	2. 企業債償還金	142	145	145	0	149	143	147	146
	3. 他会計長期借入金返還金								
	4. その他	6	6	6	0	6	6	6	6
	支出計 (B)	198	271	271	0	288	228	223	224
差引不足額 (B)-(A) (C)	▲ 92	108	108	0	117	87	85	84	
補てん財源	1. 損益勘定留保資金				0				
	2. 利益剰余金処分量								
	3. 繰越工事資金								
	4. その他		108	108	0	117	87	85	84
計 (D)	0	108	108	0	117	87	85	84	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	▲ 92	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)									
実質財源不足額 (E)-(F)	▲ 92	0	0	0	0	0	0	0	

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	27年度 (実績)	28年度			29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画
		計画A	実績B	差(A-B)				
収益的収支	( 0) 273	( 0) 326	( 0) 326	( 0) 0	( 0) 407	( 0) 415	( 0) 412	( 0) 410
資本的収支	( 6) 123	( 6) 158	( 5) 158	( 1) 0	( 6) 168	( 6) 138	( 6) 138	( 6) 137
合計	( 6) 396	( 6) 484	( 5) 484	( 1) 0	( 6) 575	( 6) 553	( 6) 550	( 6) 547

- (注)
- ( )内はうち基準外繰入金額を記入すること。
  - 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。